

第 11 回総合企画審議会会議録

1 附属機関の会議の名称 第 11 回水戸市総合企画審議会

2 開催日時 平成 25 年 11 月 25 日（月）午後 2 時～午後 2 時 45 分

3 開催場所 本庁舎前議会臨時庁舎 2 階 全員協議会室

4 出席した者の氏名

(1)水戸市総合企画審議会委員

岩上堯 大久保博之, 小川喜治, 鹿倉よし江, 上甲宏, 中山義雄, 山川庫,
井上綾子, 高倉富士男, 田中泉, 田中真己, 出井滋信, 寺門忍, 袴塚孝雄,
藤澤二三夫

(2)執行機関

高橋靖, 橋本耐, 田尻充, 秋葉宗志, 小田木健治, 三宅陽子, 坪井正幸,
石丸美佳, 飛田尚亨, 小野瀬嘉行, 保科竜吾, 酒井隆行

5 議題及び公開・非公開の別

水戸市第 6 次総合計画の策定について（答申）（公開）

6 非公開の理由 適用なし

7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 2 人

8 会議資料の名称

資料 1 水戸市第 6 次総合計画の策定について（答申）（写し）

[別冊] 水戸市第 6 次総合計画（案）

9 発言の内容

【執行機関】皆様、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから、第 11 回水戸市総合企画審議会を開催させていただきます。

それでは、会長に議事の進行をお願いいたします。会長、よろしく願いいたします。

【会長】はい、それでは、開会に先立ちまして、一言、御挨拶申し上げたいと思います。

本日は、皆様方には、お忙しい中を御出席いただきまして、まことにありがとうございます。当審議会につきましては、昨年8月に、高橋市長様から諮問を承りまして、以来、本日まで、本審議会11回、小委員会5回、計16回、期間にしまして、1年3か月間にわたり、皆様の熱心なる御審議を賜り、その上、何かと御協力をいただきまして、まことにありがとうございました。おかげさまで、本日、答申の日を迎えることができました。この間、事務局の皆様には、資料の作成や取りまとめなど、大変お世話になり、ありがとうございました。

本日の審議事項は、水戸市第6次総合計画の策定（答申）についてでございます。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、座ったままで失礼させていただきます。

議事に先立ちまして、本日、____委員、____委員、____委員、____委員の4名の皆様が、所用のため欠席との連絡を受けておりますので、御報告を申し上げます。

また、本日の会議録署名人につきましては、____委員と____委員にお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

それでは議事に入ります。

前回の審議会におきまして、皆様から御意見をいただき、答申書及び別冊の計画（案）を取りまとめました。前回からの修正につきましては、私に御一任いただいたところでございますが、修正等の内容につきまして、事務局から報告をお願いしたいと思います。よろしく願いします。

【執行機関】はい、それでは、前回から修正させていただいた箇所につきまして、御説明させていただきます。

はじめに、厚い冊子の計画（案）でございますが、前回審議会で御意見をいただきました、中心市街地の主要事業・ハード、そして、歩いて楽しめる道路空間整備についてでございます。水戸駅北口ペDESTリアンデッキの整備や弘道館・水戸城跡の周辺をはじめとしました回遊性向上の視点から、水戸駅北口を表現に残すということで整理してございます。また、286ページになりますが、目標指標一覧につきましては、各論に位置付けました指標の総括として、項目の総数を102項目と明記することといたしてございます。さらに、全体事項でございますが、漢字やかなの使用、字句、語尾の整理等を行わせていただきました。

別紙になりますが、答申書の写しをお配りさせていただいております。こちらの変更点につきまして、御説明させていただきます。答申書の写しのほうでございます。4番におきまして、国内外で活躍できる子どもたちの育成

の視点、また、7番で河川改修等の災害の予防、減災について、追加をさせていただきます。また、裏面にまいりまして、9番でございます。定住人口の増加策としての子育て世帯の居住支援について、さらには、11番で、商業、農業、工業以外の産業の連携の視点、あわせて、水戸で育った人材が活躍できるための就労環境の整備の視点を追加するとともに、12番におきまして、桜川の文言を、さらに、16番におきましては、あらゆる分野における人づくりの推進の視点を、17番におきましては、参加、参画の字句の修正といった、追加・修正等を行わせていただきました。さらに、18番の項目としまして、総合計画の進行管理に関する内容を追加させていただいております。以上、御報告させていただきます。

【会長】はい、ありがとうございました。

ただいまの事務局からの報告のとおり、答申書を御確認いただき、本審議会といたしまして、高橋市長様に答申することとしたいと思っておりますが、いかがでございでしょうか。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

【会長】はい、ありがとうございます。それでは、そのように決定させていただきます。ありがとうございました。

【執行機関】ありがとうございました。それでは、答申に移らせていただきます。会長、副会長から、高橋市長への答申をお願いいたします。

【会長】平成25年11月25日、水戸市長、高橋靖様。水戸市総合企画審議会会長、___。水戸市第6次総合計画の策定について(答申)。平成24年8月31日、政企諮問第1号によって、当審議会に諮問のありました水戸市第6次総合計画の策定につきまして、別冊のとおり、答申いたします。この答申に当たっては、当審議会において、十分な審議を重ねるとともに、当審議会内に第1小委員会及び第2小委員会を設け、慎重に審議いたしました。この答申に基づく総合計画の実現及び計画の円滑な推進に向け、18項目について、十分配慮されるよう、要望するものです。特に、答申いたしました総合計画を着実に実行し、市民にとっての成果が現れるよう、しっかりと進行管理されるよう、重ねてお願いいたします。

それでは、答申させていただきます。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

(答申書を高橋市長へ手渡し)

【高橋市長】ありがとうございました。しっかりと受け止めさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

【執行機関】ありがとうございました。それでは、ここで、高橋市長から御挨拶申し

上げます。

【高橋市長】 皆さん、こんにちは。水戸市総合企画審議会より、ただいま、答申をいただきました。皆様方には、会長、そして、副会長を中心に、これまで長らく、活発かつ慎重な御議論、協議をいただきましたこと、厚く御礼と感謝を申し上げる次第でございます。これから、向こう 10 年間、この総合計画を中心に、水戸市の発展、市民福祉の向上のために、私たちも職員一丸となって、推進、そして、努力をしていきたいというふうに思っております。皆様方には、さまざまと審議をいただく中で、現在の社会がおかれている現状、お話をさせていただいたと思います。人口減少時代に突入をしました。超高齢社会にも既に突入をいたしております。そして、これからも、環境に対する配慮を力強く推進していかなければならない。そんな時代であります。いわゆる、そういった、時代が変わる中で、私たち自治体も、これまでの価値観や考え方を変えて、大きく舵を切っていかなければならない部分も出てくるという認識をしているところであります。そんな思いから、この第 6 次総合計画の中には、今までとは違った考え方を盛り込ませていただいたところであります。

その中で、三つの特色を打ち出させていただきました。皆さん既に御存知のとおりでありますけれども、特に、目標人口としては、初めて人口の減少というか、人口が増えないというような、そういう状況を設定する一方、やはり、都市の力強さ、いわゆる、活力を維持していかなければならない。そして、発展に向け、目標交流人口という形で、新たな目標値を設定させていただいたところであります。

二つ目は、これまで、拡散型・拡大型の開発志向から、集積型の持続可能な都市構造に転換をすることといたしまして、この魅力・活力集積型スマートエコシティというコンセプトを目指すことといたしました。

三つ目は、水戸ならではの特徴を生かして、個性と魅力、都市力の向上を目指して、四つの重点プロジェクトを明記させていただいたところであります。未来への投資プロジェクト、災害に強いまちづくりプロジェクト、観光集客力アッププロジェクト、まちなかにぎわい・活力創造プロジェクトを掲げさせていただいたところであります。

これらの細部にわたって、皆様方には御審議をいただいて、そして、御提言・御意見をいただいたところであります。皆様方からいただいた御意見・御提言、あるいは、見直す部分等について、この総合計画の中に反映をさせていただいたところがございます。これからも、皆様方からいただいた御意見を真摯に受け止め、そして、何といたっても、スピード感をもって、この政策の遂行に当たっていきたいというふうに思っております。間もなく、予算編成のほうも具体的に動き出すところであります。次年度の予算編成についてでありますけれども、平成 26 年度というのは、総合計画のスタートの

年でありますから、この総合計画のスタートの年にふさわしい、そういう予算編成を心がけていかなければならないと思っております。良いスタートを切っていきたい。特に、重点プロジェクトと位置付けた四つの項目につきましては、まさにスタートダッシュを切るべく、予算編成の中に、このプロジェクトの具現化についてのさまざまな政策を盛り込んでいきたいと考えております。そのような良いスタートを切って、この総合計画を着実に実行していくというような体制を整えていきたいと思っております。皆様からも御意見をいただきました進行管理の体制ですが、通常、3か年の実施計画を策定して、それでローリングをしていくというところではありますが、より市民に開かれた形にして、市民の方々と共通理解、共通認識を持ちながら、この総合計画を進めていくようなチェック体制も整えていきたいと思っております。これから、この総合計画につきましては、皆様方から答申をいただき、さらに、12月の議会に提案をさせていただいて、これから、議会でも揉んでいただくということになります。さらに、一層、輝きあふれる総合計画に成長させていただけるとはならないかなという、そんな思いもあります。市民の皆様方に理解をいただき、そして、議会でもさまざまな御意見をいただき、そして、私たち行政もしっかり、この総合計画を練ってきました。そういう、まさに三位一体でこの総合計画ができ上がっているという認識をいたしております。御存知のとおり、この総合計画は、コンサルタントであるとか、あるいは、シンクタンクであるとか、そういったところに委託をしているわけではありません。これまで、政策決定過程の中において、市民の方々から、さまざまな御意見をいただく機会を設けてまいりました。そして、何といたっても、総合企画審議会の中で、皆様方に御議論をいただきました。私たち行政も、いろいろな知恵を振り絞ってきました。議会にも御意見をいただき、最終段階で、これから議会のチェックをいただくということになります。まさに、自己完結型で、水戸市民が作り上げた総合計画であるという自負をいたしております。市民の力で作り上げた総合計画ですから、市民の力で実行をしていきたいというふうに考えております。したがって、今日は答申をいただきましたけれども、これから、この総合計画を実行するに当たって、皆様方からもいろいろな御意見をいただきたいと思いますし、厳しい眼をもって、その進行管理、チェックをしていただきたいと思います。もちろん、私たちもしっかり、実効性というものを念頭におきながら、この総合計画がただ単に、一冊の本で終わることなく、皆様方の幸せ、そして、水戸市民の発展につながるような総合計画として、実行をしていきたいというふうに思っております。これまで、本当に皆様方には、大変お世話になりました。これからも、市民と行政との協働で、まちづくりを進めていきたいと考えております。引き続き、皆様方には、御指導、御鞭撻、御協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げまして、私のほうからの御礼の

挨拶に代えさせていただきたいと思います。これまで、大変お世話になりました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

【会長】本審議会の役割でございますが、これで、終えることができたものと思っております。時間も限られておりますけれども、各委員の皆様から、これまでの御感想、あるいは、要望など、一言ずつお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、___委員から反時計回りでお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

【___委員】時折、虫食いのように出られないときがありまして、大変申し訳なかったと思うんですが、ここまで、皆さんの意見をうまく行政の方がまとめて、盛り込んでいただけたと思います。魁のまちを目指すので、魁の行政をお願いしたいと思います。地方分権時代、地方競争時代の自治体のリーダーとして、水戸市が輝かないといけないと思います。当面のライバルは、水戸市の職員の皆さんはそうは思わないかもしれませんが、つくば市だと思います。水戸市は県庁所在地ですから、つくば市の市政に負けることはないでしょうが、茨城県の将来は、水戸とつくばに大きく集約されてくるような気がします。これからの10年間、ぜひ、魁の自治体として市政を担っていただき、また、私たちも協力していきたいと思います。何の反省にもなりません、一言だけ、感想を述べさせていただきました。よろしく願いいたします。

【会長】ありがとうございました。それでは、___委員お願いします。

【___委員】___でございます。私は、皆様御存知のように、住みよいまちづくり推進協議会という、そのような場にあります。そのことから、コミュニティ活動や住みよいまちづくりの活動を、水戸市と協働で行い、その協働の一翼を担う場にある者としての視点から、さまざまと申し上げさせていただきました。中には、素人の発言として、非常に未完成のものもあったかと思いますが、今後とも、水戸市のこの第6次総合計画の進展とともに、私たちの住みよいまちづくり推進協議会も総力を挙げて、市民としての義務を果たすべきだと考えておりますので、皆様方の御協力、御支援、御鞭撻をお願い申し上げます。私の思いとさせていただきます。

【会長】ありがとうございました。それでは、___委員、お願いします。

【___委員】私もあまり役に立たないような話しかできなかつたんですけども、自分自身としては、このような会議の中に参加させていただいて、大変勉強になり、ありがたかったと思っております。それで、この総合計画のほうも魁のまちづくりということで、交流人口も450万という数を設定しております。そういった中で、この内容が少しでも市民に分かりやすく、理解できるように広げられたらいいなと思いますし、行政とともに、協働のまちづくりに関わっていただけたらと思います。それで、私、水戸女性会の代表として出させていただきますけれども、今年、20年という節目に当たりまして、その20

年を振り返ったときに、会場というか、活動拠点ですか、そういったことに非常に苦勞してまいりました。現在は、文化交流プラザを基点にしてるんですけども、来年度には耐震工事が始まるということで、また、約1年間使えないということになっており、会員のグループ団体等は非常に苦慮しております。これからの10年間に向けて、市民会館の建設等もこれから具体的にになっていくと思っておりますけれど、女性センターなり、男女平等センターなり、新しい建物を建ててとは言いませんが、施設設備を充実したものにしていっていただけたら、ありがたいと思っております。最後にこんなこと言わせていただいて、申し訳ありません。いろいろとありがとうございました。

【会長】ありがとうございました。それでは、____委員、お願いします。

【____委員】大した協力もできなかったと思うんですけども、この答申書及び計画案ですが、この全てが大事でしょうけれども、特に、答申書のほうの7番目にあります、災害時要援護者支援体制の構築、これを速やかに進めていただきたいということだけ申し上げたいと思っております。

【会長】ありがとうございました。それでは、____委員、お願いします。

【____委員】私も、普通は5割以上、会議には出られるんですけども、なぜかこの会合は、まさに私が出ないと進まない別の会議と重なるんですよ。実は、今日も、コンベンションの件で、観光協会は宇都宮へ行っております。本来は、私もそちらに行かなければならないわけでありましてけれども、今日はこちらの総合計画の最終だというわけで、私はこちらに出させていただきました。感想でありますけれども、市民ニーズということで、いろいろと応えて、次の会議には市のスタッフが実に見事にまとめてくれておりました。優秀なスタッフがたくさんいるんだなということを、改めて感じた次第であります。それから、私の立場でいうと、市長の申している交流人口の増という中で、観光という面が大変重くなってると思っております。観光協会の職員共々、この第6次総合計画をバイブルとして、進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

【会長】ありがとうございました。それでは、____委員お願いします。

【____委員】ここの委員の中では、一番の年寄りだと思います。きっと、私は、年寄りの立場からの御希望で委員にさせていただいたんじゃないかと思っておりますけれども、考えてみますと、あんまりお役に立てなかったんじゃないかな、自分自身の年に片寄ってしまったんじゃないかなという反省をもっております。私の父親はよく言っておりました。井の中の蛙、大海を知らず。この言葉が、今も私の耳に残っております。井戸の中の蛙というのは、自分の世界が狭いことを自分自身で知らないということです。父から、地球の広さや宇宙の広さ、世の中をよく見なさいと言われたことが、今でも頭の中に残っています。井の中の蛙、大海を知らず。だから、脚下照顧、まず足元を見よといわれながらも、大きな海を見ていなかったんじゃないか。特に、86年も生きてきて、

つくづくそう思います。いい気になって、86年過ごしたけれども、やっぱり、井の中の蛙で、知らないことがたくさんあったなと思います。田中総理大臣が言ったことを、今、思い出しております。日本人はもっと外を見よと言ったあのことを、今も思い出します。ですから、そのときにはどうか分かりませぬけれども、もっと外を見よといった言葉を大切にしなければならない。そのことを身に染みつけて、生きてきたつもりです。人間は、生まれてから死ぬまで、私のように、老いて果てるものである。だとすれば、自分の人生というものと、地域とのつながり、自分一人では生きられない世界の中で、自分がどう生きるかということが、ものすごく問われるんじゃないか。そういう意味で、この委員会というのは、人づくりと同時に、地域社会で人間がどう生きるかということを教えてくれました。そういう意味では、私にとっては、大変な勉強になりました。ありがとうございました。

【会長】ありがとうございました。____委員、お願いします。

【____委員】こちらの会議に公募委員として採用されて、最初はえらいところに来てしまったと思いましたが、私自身、いろいろと非常に勉強になりました。さきほど、ライバルはつくばだとおっしゃりましたけれども、つくばと言わずにですね、ライバルはワシントンだと言えるぐらいの水戸市になってほしいなと期待しております。市長の熱い思いもよく分かりました。子育てをしているお母さんたちはすごく忙しいんですが、これからは、私たちの世代が、もっと積極的に行政に目を向けていかなければいけないなと思いました。ありがとうございました。

【会長】はい、ありがとうございました。____委員、お願いします。

【____委員】今回、議会のほうから参加をさせていただきまして、私、審議会のほうは途中からの参加でございました。私自身は微力でございましたけれども、委員の皆様のさまざまな熱い思いが、今回の答申には込められているのだという感じがしております。これから、水戸市にとっても、まだまだ、大変厳しい環境が続いていくと思いますけれども、今回のこの総合計画が、より実効性をもって、また、市民の皆さんと協働で、水戸らしい、安心して住み続けられるまちづくりにつなげていただければという思いでございます。ありがとうございました。

【会長】はい、ありがとうございました。____委員、お願いします。

【____委員】当審議会に参加させていただきまして、本当にありがとうございました。勉強になりました。私自身、教育の現場におりますので、学生と話すことも多いんですけども、大学の中では、世代間格差が非常に大きな問題として扱われています。さきほど、市長もおっしゃいましたけれども、ちょうど今、日本が人口増加から人口減少に変わる時期にいるということで、これからどう変わっていくかということは、学生達ともよく議論するところなんですけれども、そのような大きなターニングポイントに、このような大きな計画、

総合計画に携わせていただいたことは、私にとっても、非常に面白かったな
と思っております。勉強になりました。また、今までの人口増加を前提とし
た制度というのは、国レベルでも、地方自治体レベルでも、まだ残っていま
すので、恐らく、これから10年ぐらいで、そういった制度を修正していくと
いう作業が非常に重要となり、ちょうど、その先駆けとなるような計画にな
ったんじゃないかなと考えております。また、小委員会では、委員長などを
務めさせていただきまして、進行で皆さんに御迷惑をかけたと思いますが、
非常に良い勉強になりました。ありがとうございました。

【会 長】はい、ありがとうございました。___委員お願いします。

【___委員】私の場合は、期せずして、前半後半通して、委員を務めさせていた
きました。普段、議会活動はしているんですが、なかなか知識の及ばない分野
の多彩な御意見を聞いて、私も勉強になりました。ありがとうございました。
答申の第1番目にありますように、選択と集中によるメリハリのある施策展
開ということがあります。市長も冒頭におっしゃいましたけれども、その時
代の状況に合わせて、どのように選択し、集中していくのかということが、
実行に当たっては問われてくるだろうと思います。もとより、議会はチェック
役の仕事があるわけですが、ただ、チェックして意見を述べるだけで
はなく、前向きな提言もしっかり心がけて、市民の負託に応える。また、
私も、そろそろ次世代にバトンを渡すという視点で提言をしっかりとやってい
きたいという新たな決意をしたところであります。通しての審議、大変お世
話になりました。ありがとうございました。

【会 長】はい、ありがとうございました。___委員、お願いします。

【___委員】私もこの審議会に参加させていただきまして、水戸市の10年後、あるい
は、その先の将来像を描く作業の中に加わらせていただきまして、大変勉強
になりました。その中で、私なりのイメージなんですけども、やはり、水戸
市は、東京からちょうど100キロメートル前後圏にございます。できること
ならば、甲府、高崎、宇都宮、水戸という、ちょうど同心円上にある都市の
中で、水戸市が、きらっと光る一味違った都市になればという思いを持つ
ようになりました。そのためにも、この総合計画の中に、市民の参画とい
うのがございました。まちをつかっていく、都市をつかっていくというのは、
まさに、市民が主体性をもって、当事者となって、つくり上げていくものな
んだろうと思うんです。その点で、ちょっと気になったことが一つございま
して、パブリックコメントに参加される市民の方が、非常に少ないというイ
メージがございました。その部分というのは、今回の総合計画の中では、何
ら目標というものはございませんが、この市民の参加、参画というところで、
一つのバロメーターではないんですが、パブコメへの市民の参加というのを
ウォッチしていただけたら、ありがたいかなと思いました。最後になります
けども、私も、第2小委員会のほうを任されまして、委員長という職をいた

できました。不慣れな中で、議論をうまくまとめられなかったところもありましたが、皆さんの御協力もあり、何とか完結することができました。この場をお借りしまして、最後に、御礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

【会長】ありがとうございました。それでは、___委員，お願いします。

【___委員】私は公募ですが、団塊の世代の代表として選んでもらえたのかなと思うんです。その団塊の世代の私たちは、ちょうど15年後が平均寿命なんですね。到達年度を見ると、私たちが生まれたときは人口増でしたが、その逆で、少子社会がやってくる。まるっきり反対の時代がやってきます。その中で、目標交流人口についての議論がありました。仕事柄、やってきたものですが、観光行政、コンベンション、水戸徳川家の財産もありますし、それぞれの歴史を掘り起こして進めれば、絶対に成功すると思います。ただ、大事なのは、いわゆる、このにぎわいづくりの中で、人材の投入と人材の育成、これがしっかりしてないといけません。どこでも同じような自治体間競争なんです。私も日本全国、世界中を回ってきましたけど、さきほど言った財産があります。この財産をうまく掘り起こして、にぎわいづくりをしていけば、若い人たちが増えて、水戸に住んでみたい、水戸に住んでよかったというような都市づくりができるんじゃないかなと思いますので、行政の方をお願いをしたいです。私も、地域のいろいろな活動に参加をしておりますので、これから、一市民に戻って、お手伝いをしていきたいと思っております。会社内の総合計画の議論はしてきましたけれども、こういう行政のものは初めてだったので、大いに勉強させていただきました。ありがとうございました。

【会長】ありがとうございました。それでは、___委員，お願いします。

【___委員】___です。当委員会には、公募の委員として、お隣の___委員，___委員，三人と一緒に、総合計画の検討に参加させていただきました。私自身、産・学・官の3分野を一人で経験したというキャリアから選ばれたのかなと。良い方向で見ればそういうことで、ひがんでみれば、高齢者だからということで選ばれたようにも思われるんですが、良い方向に解釈したいと思います。総合計画のお話に入りますが、私は、幅広く勉強してきたなと思ったんですが、この総合計画を見ますと、実に幅が広くて、むしろ、私が検討させていただくなんていうことより、勉強するほうが多かったというのが、正直なところの感想であります。総合計画全般を見渡しますと、総合計画には、ここにいらっしゃる皆さんは御存知のとおり、関係部署の方々の知恵、知識、それから、時間をかけた御努力が、この総合計画の中に詰め込まれております。私たちの意見も入ってはおりますけれども、関係部署の御努力には、改めて、敬意を表する次第であります。それから、この10年、15年という長期計画の話ですが、長い先を見つめながら、実は一番大事なことは、今日現在、あるいは今年から来年、1、2年ですね、これをどう進めるかというところに

重点が置かれると、それが出だしを良くすることにもつながって、10年先に、この計画が実を結ぶということになるだろうというふうに思っております。そういうことで、多くの関係者の方々の御努力が詰まったこの総合計画、これの実現に向けて、これからの御尽力を期待しております。勉強させていただきました。本当にありがとうございました。

【会長】はい、ありがとうございました。それでは、副会長、お願いします。

【副会長】それでは、一言、感謝を込めて、お話し申し上げます。今回の第6次総合計画、これまでも、何度か参加させていただきましたけれども、これまでは拡張型と申しますか、どんどんやれという計画が多かったのかなと思います。今回の計画においては、各委員からお話が出てますように、人口減少社会に向けて、このまちをどのようにしていくんだということでございました。この中で、私、副会長の立場で、できるだけしゃべらないように努力をしてきたんですが、何度か、ちょっとしゃべってしまいました。大変申し訳なかったかなという思いでいっぱいあります。しかし、本当に委員の皆さん方から、素晴らしい意見をいただいて、まったくそのとおりでなと。私が言うまでもなく、皆さん方が真剣に捉えてくださって、本当に素晴らしい計画ができたと思っています。その中で、特に、これからつくる支援体制、計画、これが早期にできること。このことが、スタートダッシュを早めることとなります。____委員、____委員からお話がありましたように、やっぱり、スタートが肝心だと思うんです。うちの市長、若いですから、勢いを買って、スタートから本当に力強く、この計画を推進する。このことが、委員の皆さんの思いだろうと思っています。そこで、さきほど、18番目に出していただきました進行計画、予算、それから体制づくり。これらをどんなふうにしていくんだということが、一番大事なことだと思っています。市長からも、最後に、進行計画をしっかりしていくよという話をいただきました。したがって、10年先も、____委員がおっしゃいましたように、この水戸市の自力がなくなることによって、県北が疲弊する。このように、茨城県の将来に向けて、水戸の役割、ポテンシャルというのは、ものすごく高いものです。職員の皆さん、そして、私たち議員もですね、また、市民の皆さん方も、そこにしっかり思いを寄せていただいて、何としても、茨城の活性化のために、水戸が先陣を切って、切り開いていく。そして、少子・高齢化に向けた減少社会というものを一番先に打ち出した総合計画が、この計画であろうと思っています。したがって、ぜひ、市長には御奮闘いただいて、各部門、叱咤激励をしていただきながら、この計画が無にならないように、そして10年後、やってよかったと、皆さんが手を叩いて言えるような計画になりますことを、ぜひ、市長に託したいと思います。ちょっと出すぎたことをお詫びして、まとめにします。ありがとうございました。

【会長】はい、ありがとうございました。それでは、私が最後でございます。さ

きほど、市長様のほうから、大変ありがたい、そして、心強いお言葉をいただきまして、まことにありがとうございました。また、ただいま、皆様方からいろいろな御感想を頂戴しまして、ありがとうございました。私の感想としましては、冒頭に申し上げましたとおりでございますが、委員の皆様方には、長期間にわたり、熱心なる御審議をいただきまして、本当にありがとうございました。また、事務局の皆様にも大変お世話になり、ありがとうございました。私自身にとりましても、このような機会を与えていただき、大変勉強になりました。皆様方と、またどこかで、御一緒することがあるかもしれませんが、そのときには、これを御縁に、どうぞよろしくお願ひ申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

以上をもちまして、水戸市総合企画審議会を終了させていただきたいと思ひます。本当に皆様、長い間、御審議賜りまして、ありがとうございました。